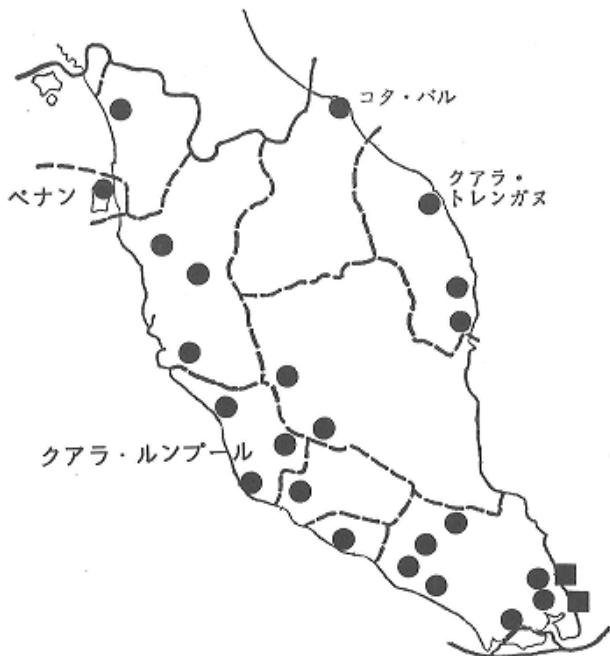
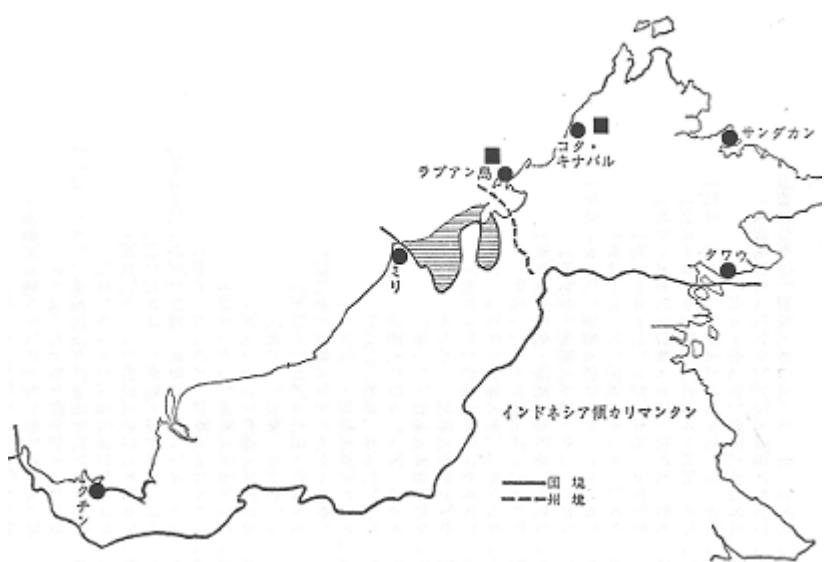


マレーシアの日本人墓地

<マレー半島>



<ボルネオ島>



1. クアラ・ルンプール日本人墓地 (KL 連邦直轄区)
2. ラブアン日本人墓地 (ラブアン連邦直轄区)
3. ムア日本人墓地 (ジョホール州)
4. ブキット・クポン日本人墓地 (ジョホール州)
5. バト・パハット日本人墓地 (ジョホール州)
6. トロ・スンガイ日本人墓地 (ジョホール州)
7. スガマット日本人墓地 (ジョホール州)
8. センガット日本人墓地 (ジョホール州)
9. ジョホール・バル日本人墓地 (ジョホール州)
10. アロー・スター日本人墓地 (ケダ州)
11. コタ・バル日本人墓地 (クランタン州)
12. マラッカ日本人墓地 (マラッカ州)
13. スレンパン日本人墓地 (ヌグリ・スンビラン州)
14. ブントゥン日本人墓地 (パハン州)
15. ラブウ日本人墓地 (パハン州)
16. イポー日本人墓地 (ペラ州)
17. トゥル・アンソン日本人墓地 (ペラ州)

18. タイピン日本人墓地 (ペラ州)
19. ペナン日本人墓地 (ペナン州)
20. コタ・キナバル日本人墓地 (サバ州)
21. サンダカン日本人墓地 (サバ州)
22. タワウ日本人墓地 (サバ州)
23. ミリ日本人墓地 (サラワク州)
24. クチン日本人墓地 (サラワク州)
25. クラン日本人墓地 (スランゴール州)
26. ウル・スランゴール日本人墓地 (スランゴール州)
27. トレンガヌ日本人墓地 (トレンガヌ州)
28. ドウンゲン日本人墓地 (トレンガヌ州)
29. ケママン日本人墓地 (トレンガヌ州)
30. トロ・スンガイ招魂碑及び記念碑 (ジョホール州)
31. センガット招魂碑 (ジョホール州)
32. ボルネオ戦没者の碑 (ラブアン連邦直轄区)
33. 旧日本軍関係者慰靈碑 (サバ州)

マレーシアにはマレー半島およびボルネオ島を併せ、上記 33 箇所に日本人ゆかりの墓地や慰靈碑が点在しています。

そのうち、29 箇所（1～29）は邦人が眠る日本人墓地であり、これらの墓地の一つ一つが、日本人の移住の歴史を示す貴重な歴史的遺産であり、先達の足跡といえます。

クアランプール日本人墓地

マレーシアに 29 箇所ある邦人墓地のうち最大の面積をもつ KL 日本人墓地は、1899 年（明治 32 年）の開設より現在まで百十余年の歴史を有し、戦前戦後の日本人会、日本国大使館、当地在住の邦人らによって維持、運営、管理されてきました。しかし歳月の経過とともに荒廃が著しくなったため大改修工事を行い、1990 年、先人達が永眠するに相応しい明るく清潔なたたずまいの靈園になり、2005 年には慰靈堂も建て直しされました。現在では、日本人学校の生徒達によって年 3 回の墓地清掃が行われ、春と秋の彼岸には日本から和尚様をお迎えして法要を開催しています。

KL 日本人墓地には、戦前の被葬者 270 余名(うち 7 割が女性、主にからゆきさん)、戦中・戦後の被葬者 200 余名(うち 8 割が軍関係者)、さらに○○以下○名といった無名の埋葬者を入れると総計 570 名ほどの方が眠っておられます。また、戦後のクアランプールでは、約 8,000 人の旧日本軍人が種々の補修工事や清掃のために作業隊として残されていたため、その期間に病で倒れた方なども埋葬されています。

クアランプール日本人墓地の沿革

年月		内容	
1894 年頃	明治 27 年頃	8 月 13 日	KL 最初の邦人互助組織「厚徳会」結成
1897 年	明治 30 年	3 月	セランゴール政庁より墓地としての土地使用正式許可取得
1899 年	明治 32 年		「大日本帝国臣民の墓」開設
1901 年頃	明治 34 年頃		慰靈堂（吉隆寺）建立
1916 年	大正 5 年	8 月	セランゴール州日本人会が結成され墓地管理を行う
1941~45 年	昭和 16~20 年		第二次世界大戦（大東亜戦争）
1948 年	昭和 23 年	10 月～	】当地の邦人永住者、森敬湖氏が墓地管理を行う
～64 年	～昭和 39 年	12 月	
1955 年	昭和 30 年頃	前半頃まで	「からゆきさん」として来馬し、当地に在住する婦人方が草取り等の墓地清掃を行っていた（55 年前半頃は、20～30 名の方がご存命）
1959 年	昭和 34 年		墓地管理についての日本政府からの補助が始まる
1961 年	昭和 36 年	3 月	セレンパン、バツウ・パハット、アロ・スター、コタ・バルの 4 墓地から移葬
1963 年	昭和 38 年	11 月 25 日	クアランプール日本人会発足
1965 年	昭和 40 年	1 月	クアランプール日本人会が墓地の管理を引き継ぐ
1969 年	昭和 44 年		同墓地の管理について大使館と日本人会の間で契約書が交わされる
1980 年	昭和 55 年		クアランプール日本人学校生徒による墓地清掃が開始
1983 年	昭和 58 年	12 月	日航機 JA8051 号機遭難者慰靈碑建立
1986 年	昭和 61 年頃		お彼岸の墓参開始
1989 年	平成元年		墓地改修のための募金開始（日系企業、在留邦人等に呼びかけ）
1990 年	平成 2 年	3 月	日本人墓地改修完了
1991 年	平成 3 年	11 月 17 日	クラン墓地より 5 基 6 人の墓を移葬
2004 年	平成 16 年	9 月 15 日	ラウブ市で発見された日本人の墓碑及び 3 つの骨壺を移葬
2004 年	平成 16 年	4 月	慰靈堂吉隆寺の老朽化に伴い新慰靈堂建設決定
2005 年	平成 17 年	9 月 18 日	慰靈堂の完成を記念し、秋の法要と併せて落慶式典
2006 年	平成 18 年		KL 日本人墓地維持管理委員会発足
2009 年	平成 21 年	7 月 23 日	32 年間に亘り墓地管理人を勤めた Stanley Lessler 氏逝去
2015 年	平成 27 年	11 月	被埋葬者の氏名没年等情報のデジタル化